

お国変われば 酒変わる

世界のお酒とおもしろ文化

(直訳：飲酒の機会 お酒と文化の比較研究)

ドゥワイト・ビー・ヒース (Dwight B. Heath) 著

テイラー・アンド・フランシス (Taylor & Francis) 出版

たる出版 (Taru Publishing Co.,Ltd) 日本語版出版

本書の主な目的とメッセージ

本書の主な目的は、世界中に存在する広範囲の飲酒の機会に対する理解を深めることです。これは著者の40年近くにわたって行われた飲酒習慣に関する調査や、人間文化に密接に関連している、国や国際的な政策に対して12年来関心を寄せてきた成果です。本書自体は、飲酒問題、アルコール中毒、有害な飲酒習慣にはそれほど焦点を当てていません。これらの問題は確かに無視できないのですが、それよりもむしろ、無責任な飲酒がいかに関心をもたらし社会的に影響を及ぼすかについて、また人々がどのように飲酒するか、どのような言動を取るかについて、幅広い内容で述べられています。日常のさまざまな飲酒行動や、飲酒の習慣がとても有益であることを偏見なく説明することによって、本書は、飲酒行動が、他のさまざまな人間活動とどのように統合しているかについて追求しています。

対象

本書は世界中に存在する、豊かな飲酒習慣に興味を持っているすべての人々

に向けられています。本書は、社会学者、社会心理学者、人類学者、公衆衛生の専門家にとっても有用である一方で、一般読者にとっても理解しやすく、有益となるように考慮されています。

内容の要約

本書は主に 6 つの調査の章に分かれています。第一章は、**いつ**人々が飲酒するか、という重要な問題を分析しています。個人、地域社会、国や文化全体の生活のリズムによって、飲酒の機会がどのように異なるかについて述べています。第二章は、**どこで**人々は飲酒するかに焦点を移しています。飲酒の場が、飲酒する意味や結果にどのような影響を及ぼすかを示しています。第三章は、**誰が**飲酒するかを検証しています。年齢、性別、教育、職業、階級、人種、宗教など、社会に存在するさまざまなカテゴリーにスポットライトを当てています。第四章は、**どのように**人々は飲酒するかに注目しています。どの機会も一連の工チケットや道具によって形作られています。第五章は、**何を**人々は飲むか、そしてさまざまな飲み物がどのような点で関連しているかについてを紹介しています。そして第六章は、**なぜ**人々は飲酒するか、または飲まないことを選択するか、という問題を扱っています。医学的、宗教的、美容的、道徳的、そしてその他の理由や、それにまつわる問題を検証しています。

これら 6 つの主な章に加え、いくつかの結論と提案をするために、広範囲な全容を描く最終章があります。この章と参考文献一覧は、特定のトピックをより深く追求したいという人々にむけられたものです。